

オープニング ReスキルとCITPコミュニティ

CITPコミュニティ代表
株式会社ラック 浜本 拓

「新しい生活様式」はいかがですか？

- 小学校では全校生徒にChromeBook配布
- 当初は「Zoom会議あるある」状態、驚きのオンライン体育
- 現在は、宿題は友人とクラウドで共同作業、オンライン授業中のおしゃべりはスマホでLINE、1年生でもブラインドタッチ
- 子供たちは「新しい生活様式」に馴染むだけではなく「読み書きそろばん」をバージョンアップさせた

2021年11月、当社社員アンケート

「出社頻度とストレス状況、今後の勤務形態」

- (株)ラックで全社員アンケート実施、1,145名（約7割）が回答
- 前提として、当社は在宅勤務を推奨し概ね6～7割の社員が在宅勤務
- アンケートの結果、年代が上がるほど在宅勤務に対するストレスが高く、現在の出社比率が高く、将来も出社したいと考えている

2021年4月、IPAによる調査

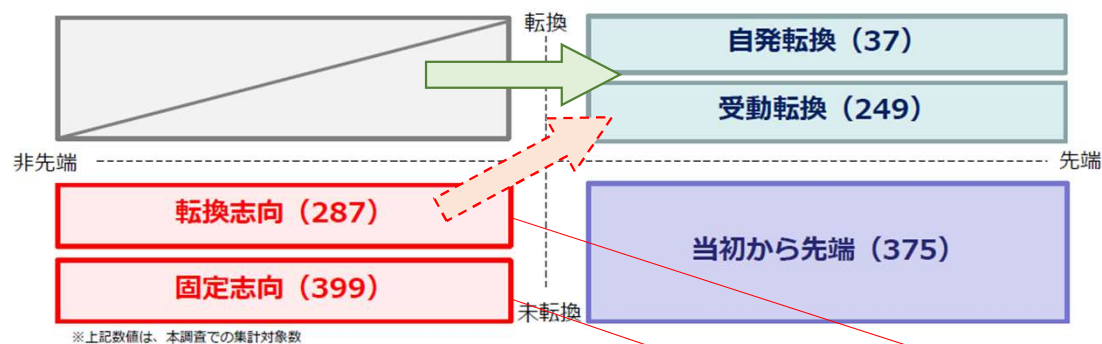
「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」

<https://www.ipa.go.jp/ikc/reports/20210422.html>

- IT人材を、先端領域（データサイエンス、AIなど）への転換に対する意識や経験により5タイプに分類
- 「ゆでガエル化するIT人材」、たにんごと「他人事化するIT人材」が数多くいる

2021年4月、IPAによる調査

「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」

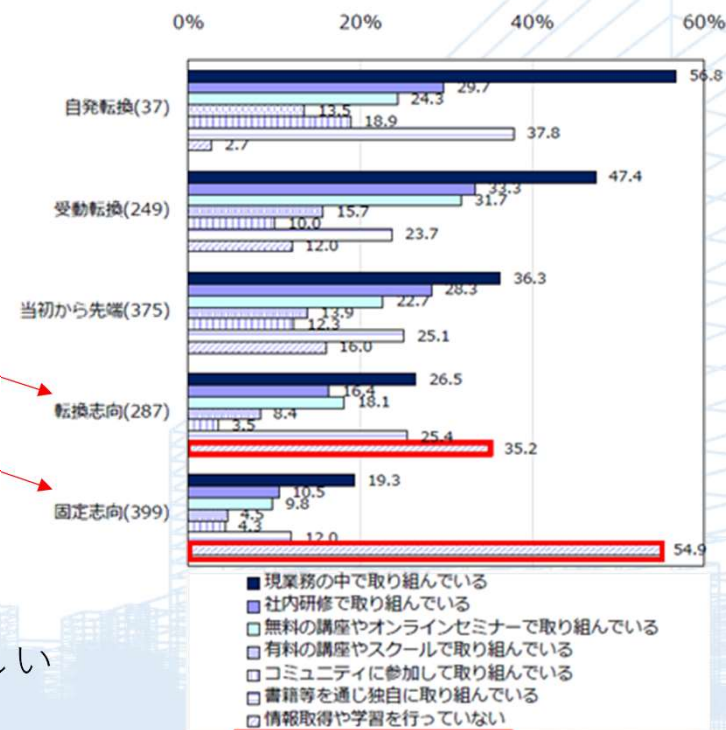


非先端領域に従事しているIT人材のうち

- 先端領域への転換を希望しない (58%)
- スキルアップのための情報収集や学習を行っていない (47%)

先端領域への転換を希望していながらスキルアップのための情報収集や学習を行っていない (35%) 理由は、自信がない (49%) し時間も無い (44%)、インセンティブ (44%) と支援 (41%) が欲しい

今後身につけるべきスキルに関し、以下のような情報取得や学習に取り組んでいるかお答えください。(MA)



※ 情報推進機構「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」統合報告書より抜粋し筆者により図示を追記

人生100年におけるReスキルのすすめ

IT業界において外に出ないということは、死んでいるに等しい

- 人生は長くビジネスの変化は速くなり、逃げ切ることはますます困難
- 他人任せにせず、自分自身のキャリアの主導権を握ること
- 一方通行の内向きの学びから、他流試合による共創へ

どうすれば良いのかわからないなら、
まずCITPで試してみては？

- 有資格者の自発的な学びを促進するプロフェッショナルコミュニティ
- 「高度な素養を持つプロフェッショナルに対する専門資格をIT分野でも創設することで、IT技術者を弁護士や医師並みに社会的に尊敬されるような職業にしたい」